



22 焼きいも

青森県立種差少年自然の家



○活動の概要○

グループの仲間と協力し、さつまいもを焼いて食べます。

1 ねらい

いもを焼く活動を通して日本の伝統的な食文化を体験しつつ、たき火の仕方や焼き方を知り、仲間との協調性を育みます。

(小学校 家庭/生活 中学校 技術・家庭/社会)

2 場所・人数・期間・時間

① 場所・人数 キャンプ場(かまど) 100人以内(1グループ5～10人程度)
小ホールは40人、プレーホールと大ホールは120人以内(水道設備なし)
自然観察室(40人・水道設備あり)

② 期間 通年

③ 時間 2～3時間

3 職員の支援について

用具貸出し時と返却時に職員がつきます。依頼があれば活動支援に入ることができます。

4 準備物

| 区分 | 準備物 | 備考 |
|------|--|---------------------------------------|
| 団体 | ・さつまいも ・アルミ箔、新聞紙、マッチ、ゴミ袋、洗剤、洗い物用スポンジ、キッチンペーパー等 | |
| 個人 | ・野外活動に適した服装(長袖、長ズボン) ・軍手、タオル ※必要に応じて雨具、虫よけスプレー | |
| 自然の家 | <焼きいも>ドラム缶コンロセット等 <石焼きいも>フライパン、石、ボール、ふた、皮手袋、ドラム缶コンロセット等 | ・10セット |
| 斡旋可能 | ・まき ・ドラム缶コンロセット(炭1/4箱、束薪1、コンロ1台) ・卓上カセットコンロボンベ(屋内時) | ・1束200円 ・1セット 1,650円 ・使用料1本 65円 |

5 引率者の役割分担

| 係名 | 役割 |
|-------|-------------------|
| 代表責任者 | ・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。 |
| 救護係 | ・緊急時の救護、搬送にあたる。 |

6 活動の流れ

- ① 用具の準備
- ② 活動説明(代表責任者)
- ③ 焼く
- ④ 食べる
- ⑤ 片づけ・まとめ

7 その他

・やけど防止のため、長袖、長ズボン、軍手、皮手袋を着用してください。

《資料》

○焼きもの手順

同時進行で行うと効率が良い

| <いもの準備> | <ドラム缶コンロの準備> |
|---|--|
|  <p style="text-align: center;">作り方の説明と準備</p> |  |
| <p>①新聞紙で、隙間なく包む。</p>   | <p>①下網を敷く</p>   |
| <p>②水に浸す。</p>   | <p>②両端にレンガを置く。</p>   |
| <p>③アルミホイル2枚でくるむ。</p>     | <p>③火おこし ⇒炭おこし</p>     <p>④もう1枚、網をのせる。</p>  |
| <p>網の上に、③をのせる。10分おきに返したり位置を変えたりする。串が下まで刺さったら完成。</p>    | |
| <p style="text-align: center;">※焼きあがるまでの間、どのような活動をするか計画が必要。</p> | |

○石焼きいもの手順

①つくり方の説明（10分程度）

②用具の準備…フライパンに石を敷き詰め、熱する。（20分程度）

※石焼き（時間をかけて熱を加える）で甘い焼きいもになる。

③焼く（1時間程度）石の上にいもを乗せて、ふたをして焼く。約15分ごとにいもをまわしながら焼く。

